

かさい よぼう
火災の予防

はいざら
たばこの灰皿

たばこを吸^すっています。



はいざら

灰皿に、ごみがある。

ひ

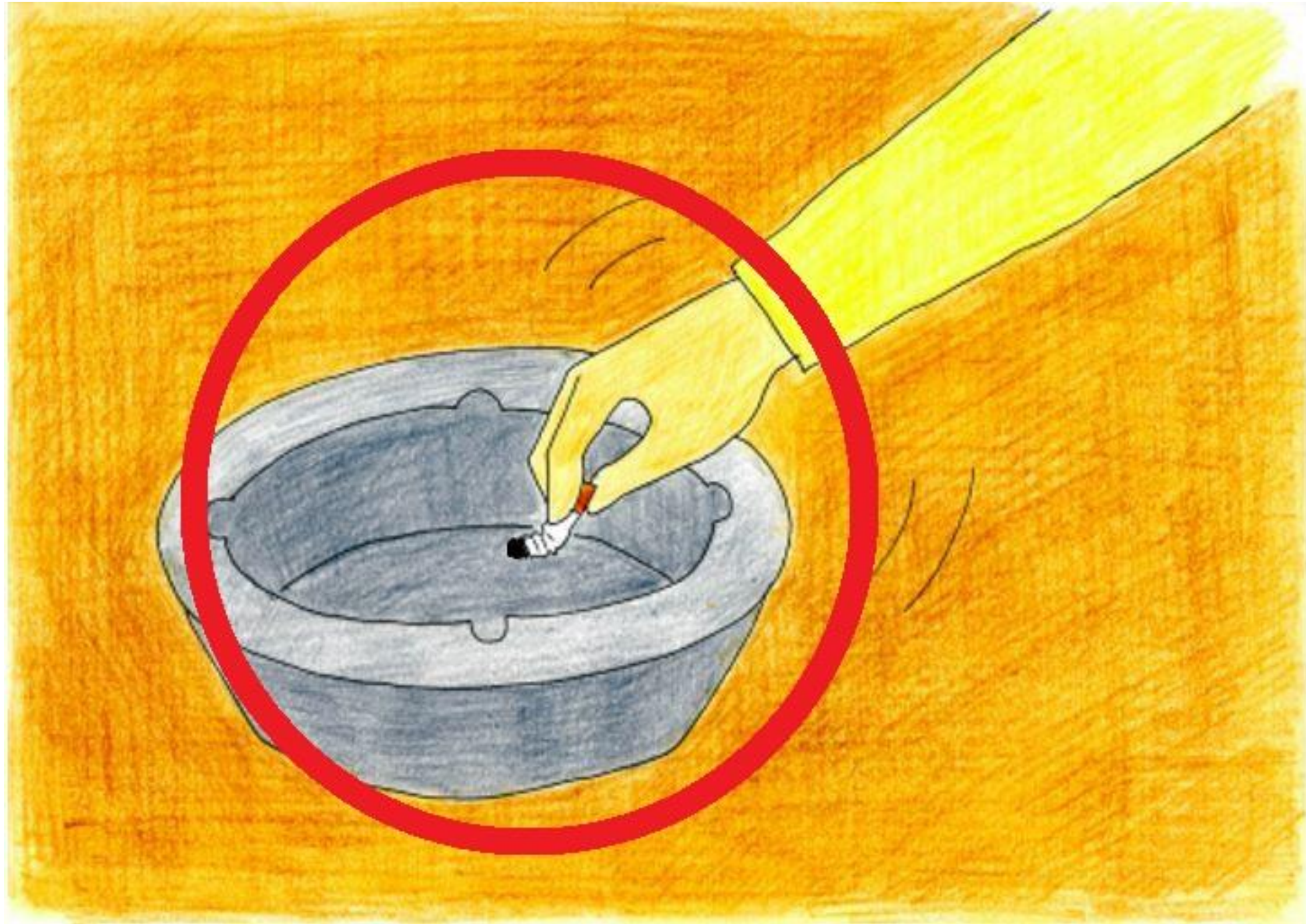
ごみに、たばこの火がついた。



かじ
火事になった。



はいざら ひ け
ごみのない灰皿で、火を消した。



ひ き
火が消えているので、か じ
火事にならない。



たばこの^な投げ^す捨ては、しません

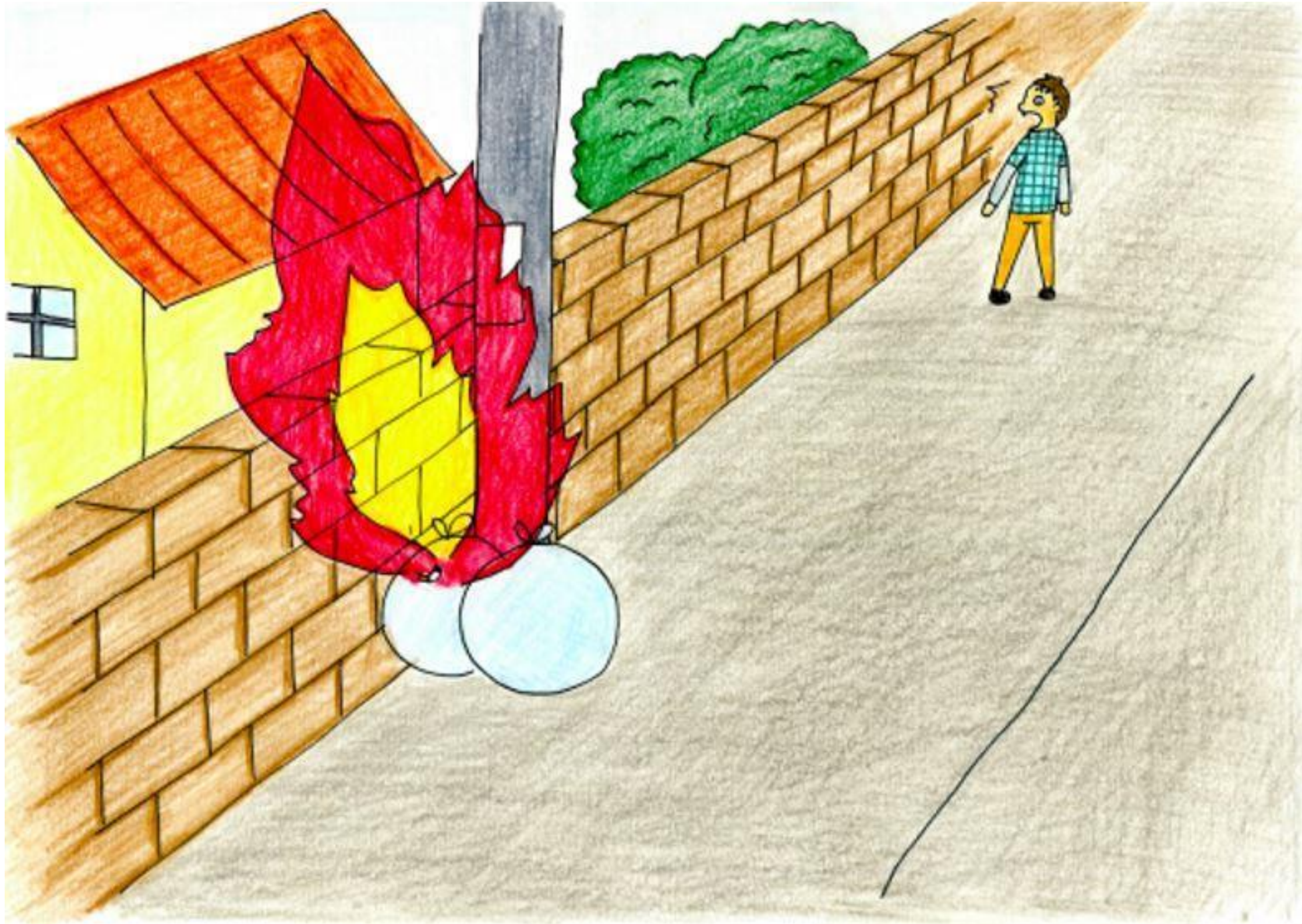
そと
外で、たばこを吸っています。



たばこを ごみに ^な ^す 投げ捨てた。



かじ
火事になった。



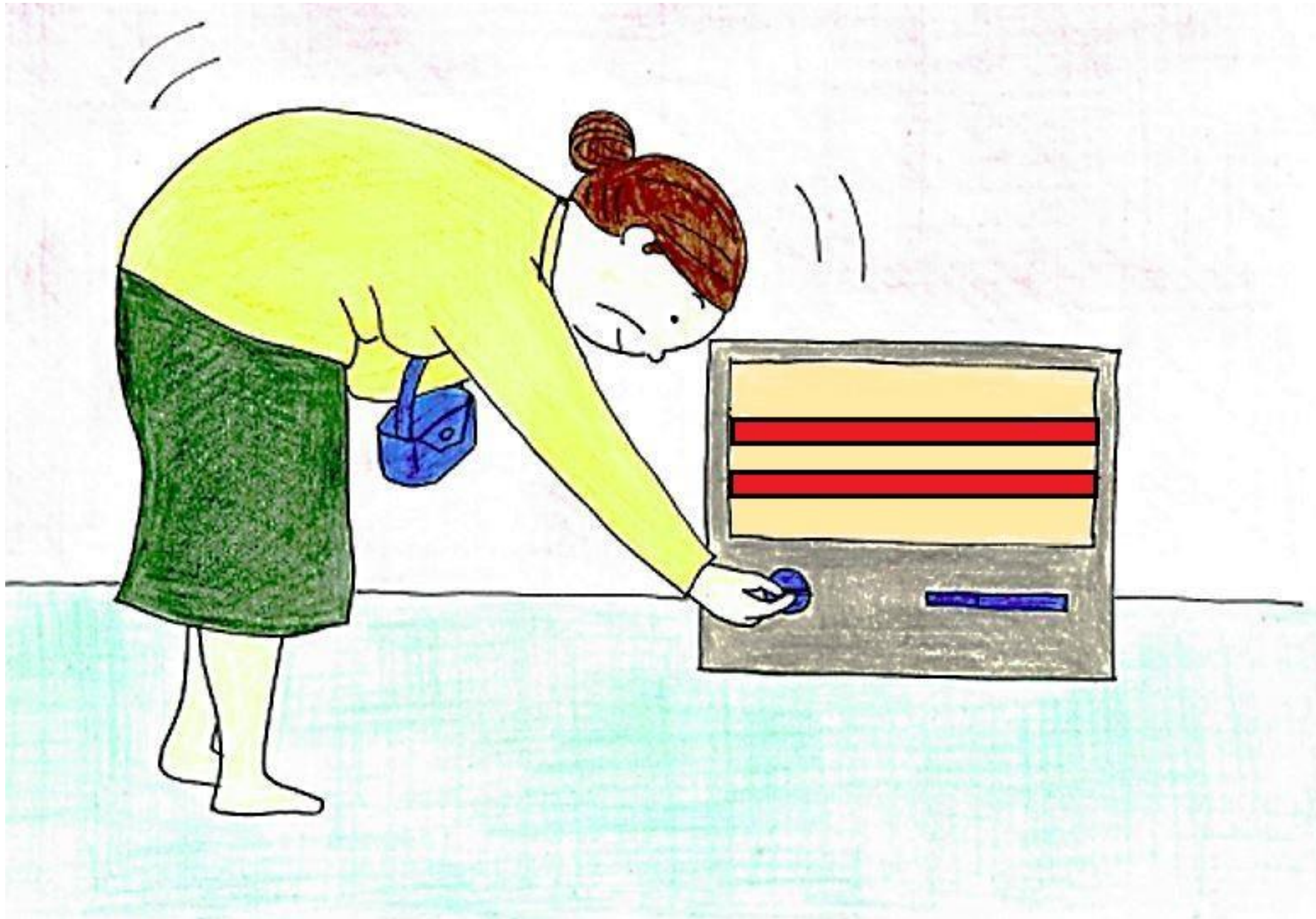
はいざら
灰皿にたばこを入れて、火を消した。

かじ
火事にならない



ストーブの^{まわ}周りに、^{もの}物を^お置かない

へ や 部 屋 の ス ト ー ブ に ひ を つ け た 。



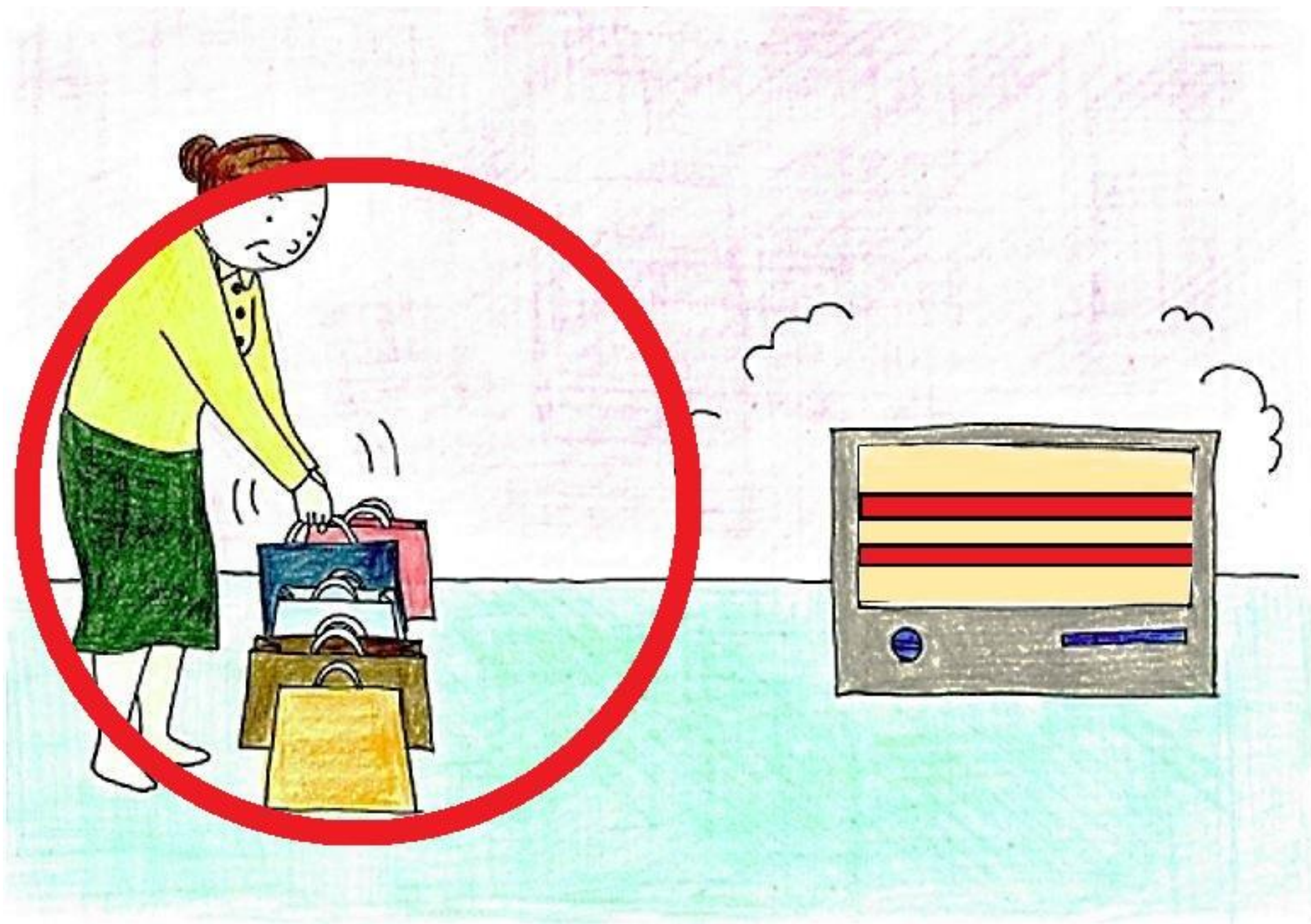
ストーブのまわりに、^{もの}物があつた。



もの ひ か じ
物に火がついた。火事になった。



まわ かたづ
ストーブの周りは、片付けよう。

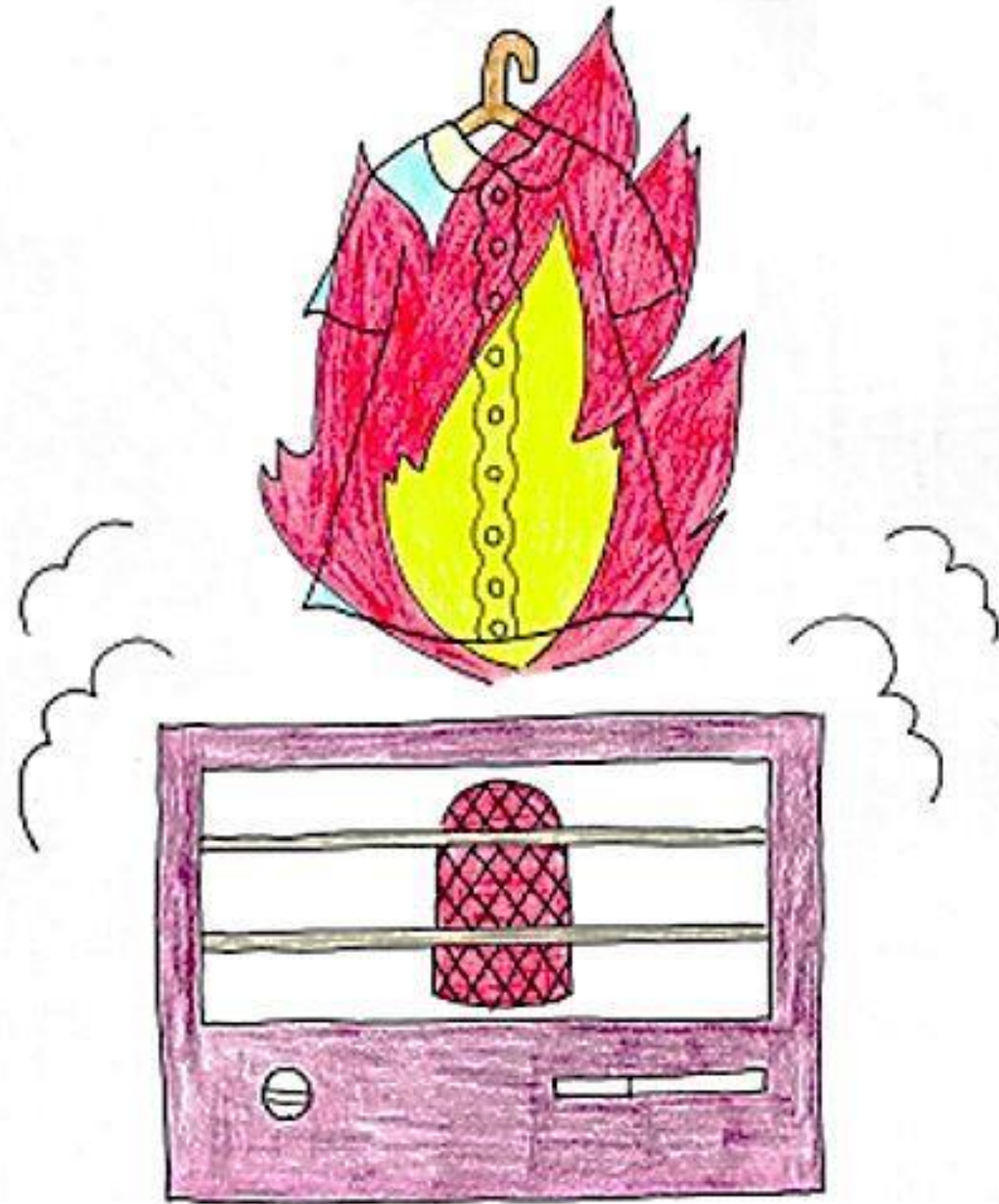


ストーブのそばに、ようふく洋服をかけない

ストーブのそばに、^{ようふく}洋服をかけていた。



ようふく も かじ
洋服が燃えて、火事になった。



ようふく

洋服は、ストーブのそばにかけない。



はなび

花火をするときは、バケツに

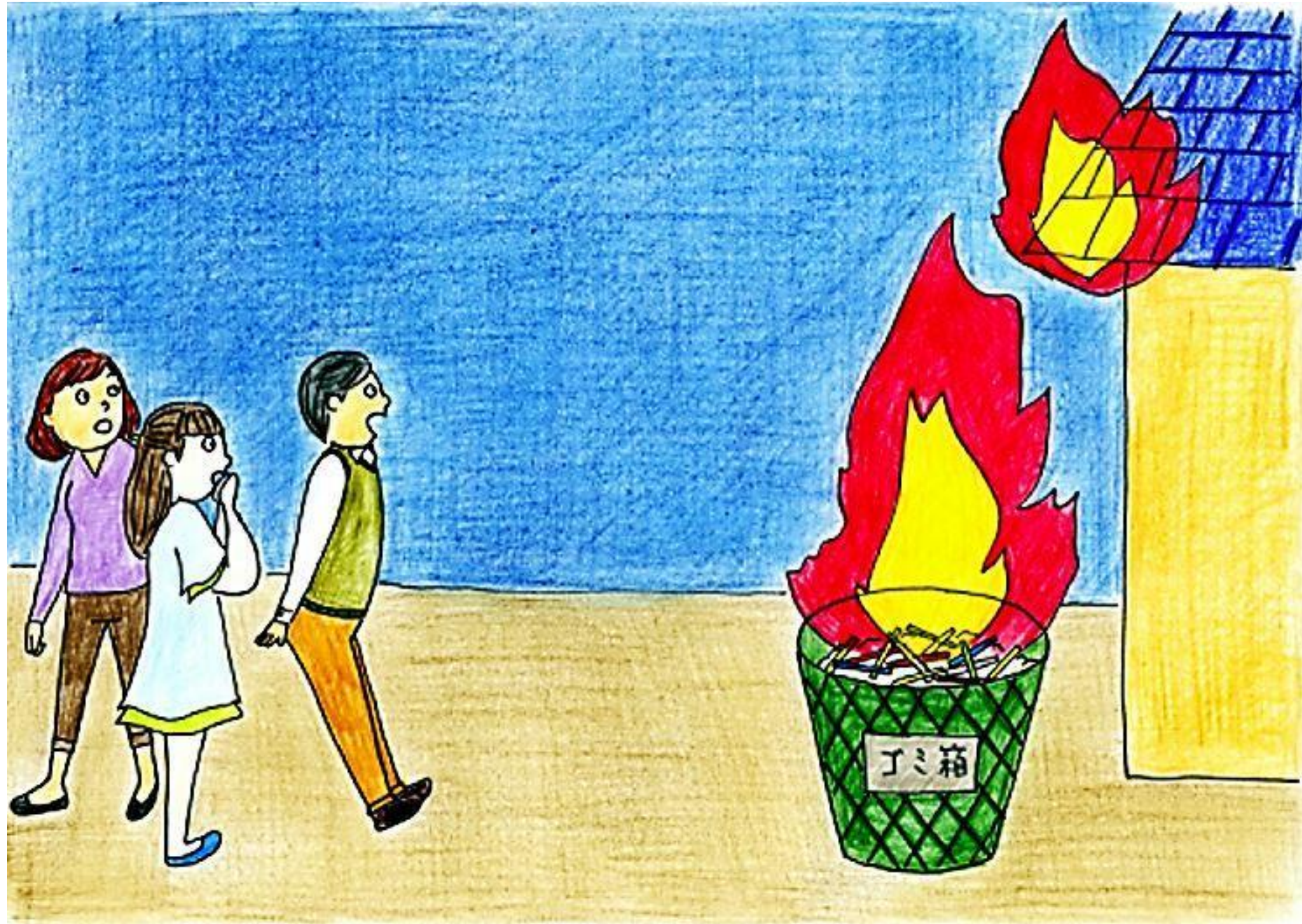
みず

水をいれて

はなび け す
花火を消さずに捨てました。



ごみに^ひ火がつき、^{かじ}火事になった。



お
終わったら、バケツの水で火を消します。
みず ひ け



ごみは、^き決められた^ひ日の^{あさ}朝に^だ出す

よる
夜のうちに、ごみを出した。
だ

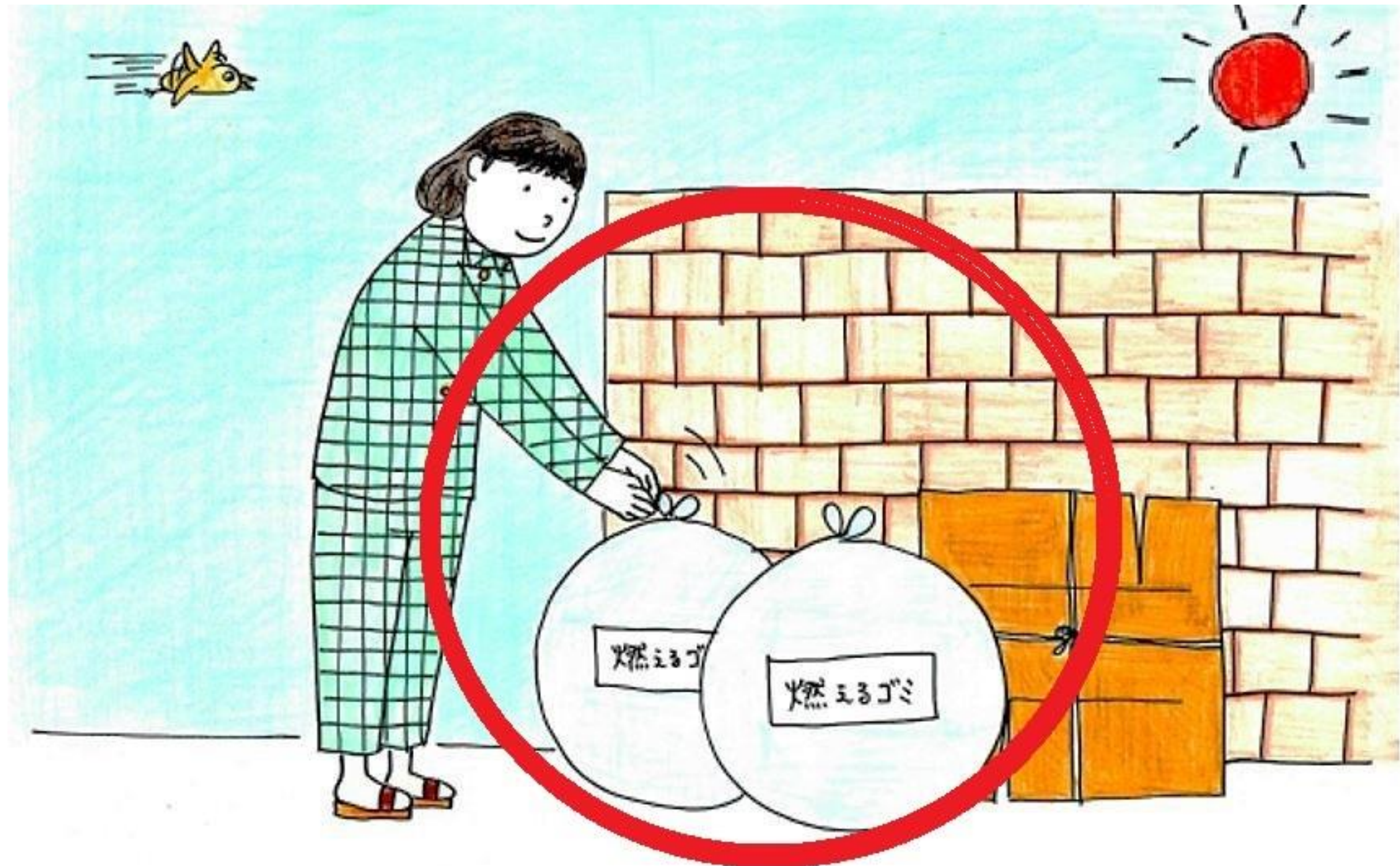


わる ひと ひ
悪い人が、火をつけた。



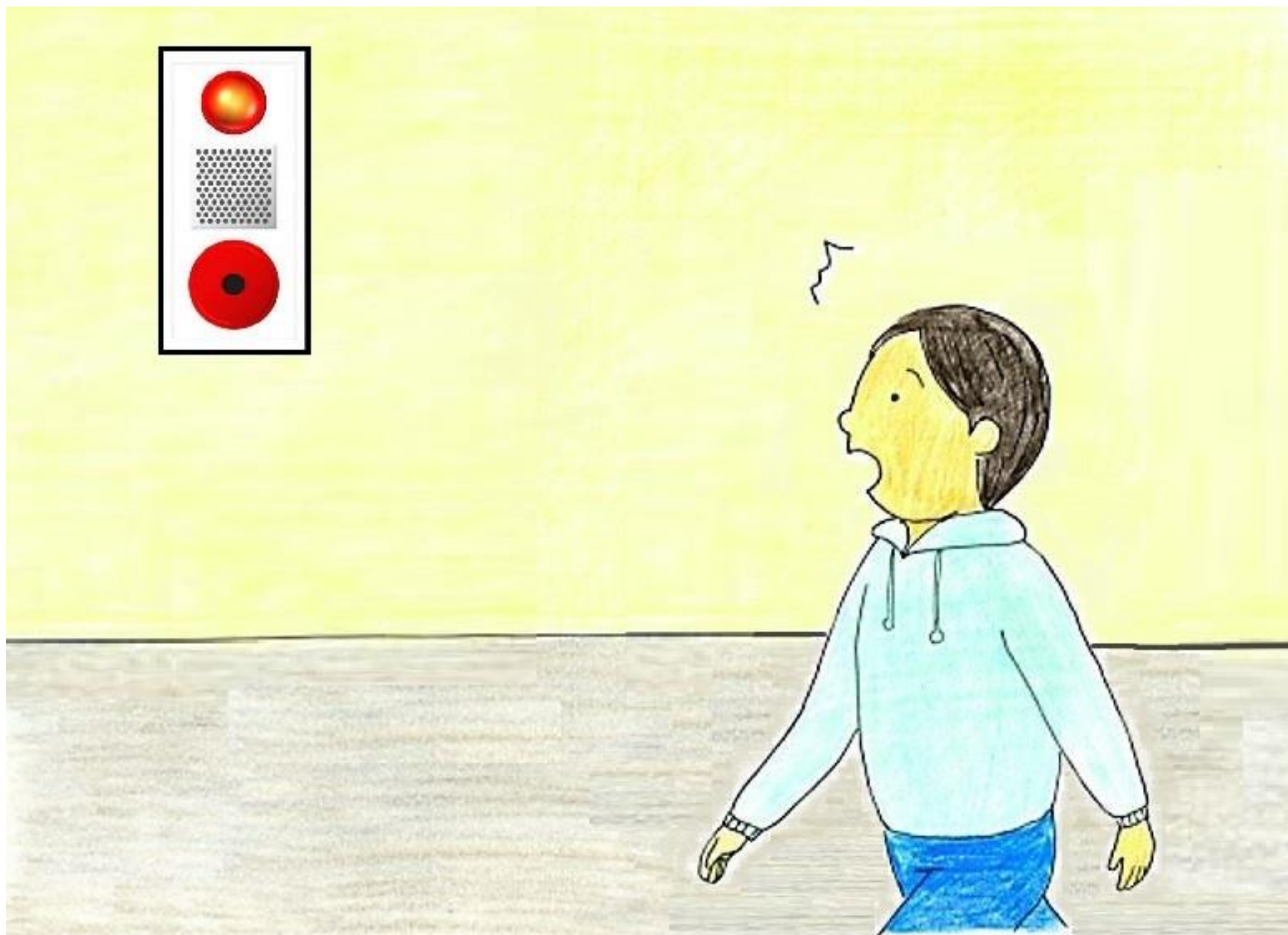
ごみは、^き決められた日^ひの朝^{あさ}に出した^だ。

^かじ
火事にならない。

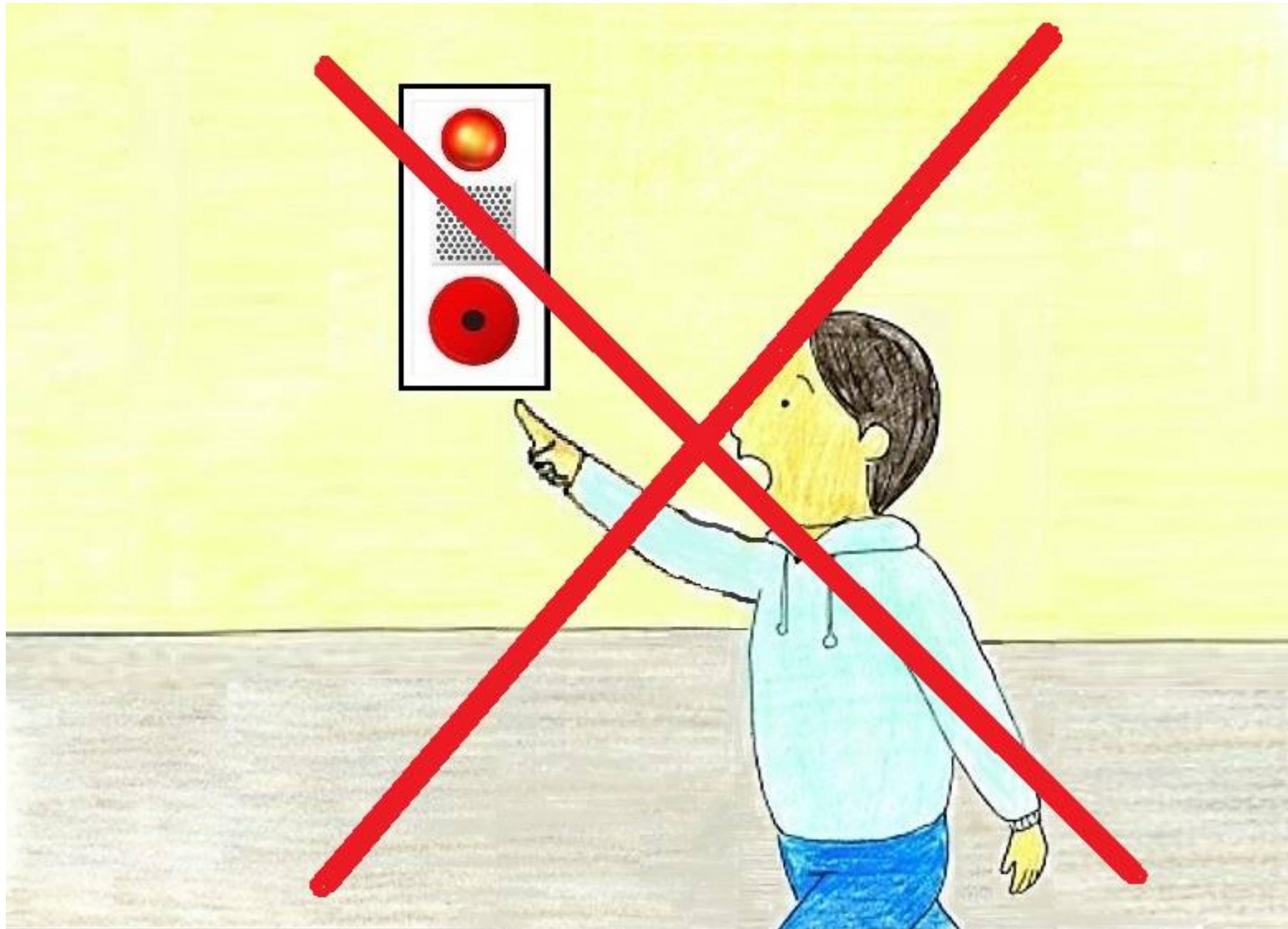


^か ^じ
火事ではないときは、^ひ ^じ ^{ょう}
非常ベルを^お押さない

ひじょう
非常ベルのボタンがあった。



かじ ひじょう お
火事ではないときは、非常ベルを押さない。



かじ ひじょう お
火事のときは、非常ベルを押す。

